

2015年2月12日  
日本生活協同組合連合会  
環境事業推進部

## 温室効果ガス総量削減計画の進捗状況

### はじめに

日本生協連は2012年7月から全国の生協に対して、2013年以降の温室効果ガス削減について2020年を目標とした計画策定を呼びかけ、2013年3月にその結果をまとめました。その結果、全国生協（参加生協全体）で、「2020年に、2005年度比で15%の総量削減」を目標として確認しました。この計画に基づき、2013年度の温室効果ガスの排出実績を集約しました。

主な特徴は以下の3点です。

- ①2013年度の全国生協の温室効果ガス排出量は、790,590千tで、基準年（2005年度）比93.2%、前年比98.6%でした。特に、店舗業態の排出量減少の影響が大きく、この間の機器類の更新とエネルギーマネジメントの前進によるものと思われます。
- ②会員生協の取り組み状況を見ると、ほとんどの生協が削減計画を組織確認し、公表し、レビューしています。組織確認や見直しを行っていない生協もありますが、総量削減には省エネ施設の導入が効果的であることから、取り組みの前進のためには削減計画を組織内でオーソライズし、事業計画に反映させる必要があります。
- ③2013年度はLED照明への切り替えを行った生協・事業連合が13あるなど、省エネ機器の導入をすすめたことが店舗の排出量削減に効果を上げています。2014年度も9生協がLED照明への切り替えを、7生協が省エネ設備の導入・更新を計画しています。

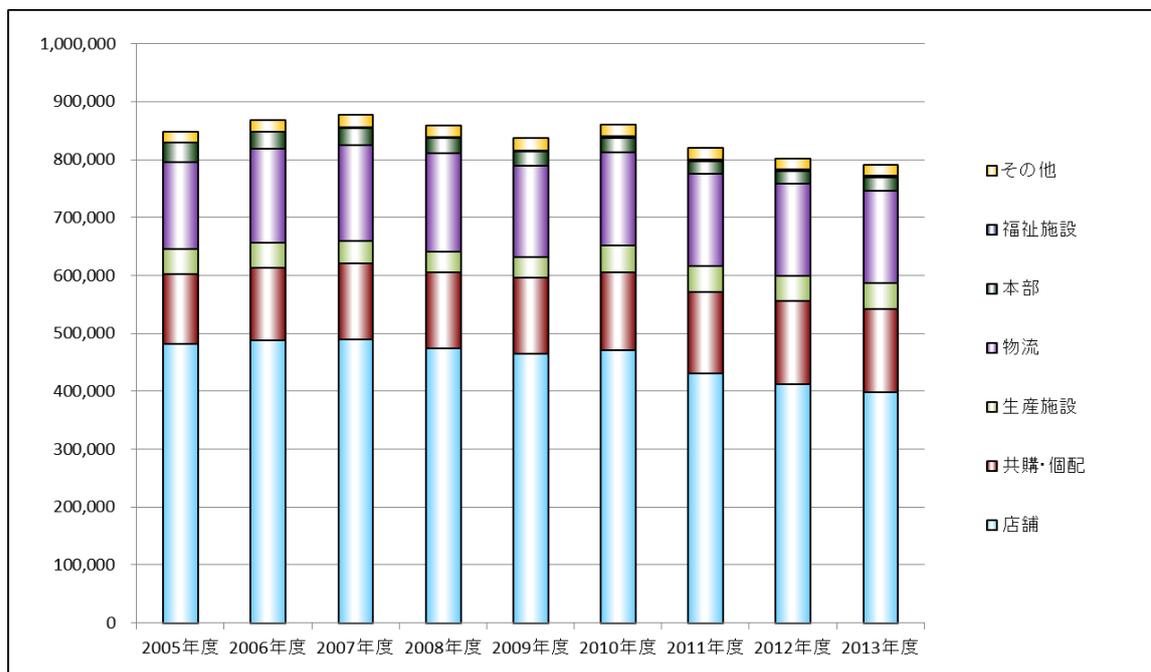
### 1. 2013～2014年度の取り組みとふりかえり

- ①2013年度の生協全体の総排出量は、790,590千tで、基準年（2005年度）比93.2%、前年比98.6%でした。
- ②総排出量は、2007年度に最大となり、その後2010年度に第二のピークがあり、2011年度以降は毎年減少する傾向にあります。
- ③業態別にみると、店舗のみが基準年比、前年比ともマイナスになっています。これは、省エネ型設備・機器類の導入や店舗改修に伴う機器類の更新、閉店などによるものと思われます。
- ④他の業態では前年度に比べて排出量が増加しました。特に、供給が順調に推移している共同購入・個配業態は基準年比121.0%となり、毎年増加し続けています。

## 2. 年度ごと・施設区分ごとの排出実績

(単位：千 t)

施設区分	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	基準年比	前年比
店舗	481,916	487,623	488,857	474,489	464,693	470,096	431,312	412,396	397,808	82.5%	96.5%
共購・個配	119,634	125,662	131,604	130,970	131,805	135,310	139,477	143,259	144,721	121.0%	101.0%
生産施設	43,886	43,427	39,452	35,982	35,121	45,746	44,523	43,734	44,418	101.2%	101.6%
物流	150,630	162,362	165,020	168,964	157,092	161,993	159,577	158,791	159,118	105.6%	100.2%
本部	32,810	28,390	29,066	27,008	25,455	24,727	22,353	22,215	22,527	68.7%	101.4%
福祉施設	284	386	1,102	1,098	1,617	2,603	2,787	3,004	3,056	1077.5%	101.7%
その他	19,185	19,706	21,421	20,625	20,938	19,742	19,574	18,769	18,942	98.7%	100.9%
全体	848,345	867,556	876,522	859,137	836,720	860,217	819,603	802,168	790,590	93.2%	98.6%



## 3. 組織確認、マネジメント体制について

温室効果ガス総量削減計画については、多くの生協で組織的に確認されており、その結果を対外的に公表し、取り組み内容について一定期間内に見直しが行われています。しかし、まだ取り組みができていない生協もあるため、今後は計画を事業の中でしっかりと位置づけ、組合員にも説明責任を担っていく必要があります。

- ①総量削減計画を組織確認していない生協または事業連合（不明含む）は3生協。
- ②総量削減計画を外部に公表していない生協または事業連合は10生協。
- ③総量削減計画のレビューを毎年実施していない生協または事業連合は1生協。

	あり	なし
組織確認	52 (94.5%)	3 (5.5%)
外部公表	45 (81.8%)	10 (18.2%)
レビュー	54 (98.2%)	1 (1.8%)

#### 4. 2013～2014 年度に実施した対策

2013年度の取り組み		件数
ハード面	LED照明への切り替え	13
	省エネ機器の導入・更新	6
	冷凍冷蔵庫と空調の更新	4
	冷凍冷蔵庫のパネル厚	1
	冷凍蓄冷財の導入	1
	リーチイン冷凍ケース	1
	センサー照明	1
	キャノピー照明	1
	小計	28
	ソフト面	省エネチューニング
電力量の見える化		3
デマンド管理		2
BEMSの導入		1
節電の取り組み		1
冷ケース管理温度の設定		1
冷ケースの夜間停止		1
蓄冷財冷凍庫の週末運転停止		1
空調の適正温度設定		1
空調の間欠運転		1
部分照明への切り替え		1
不必要な照明の消灯		1
店内照度の設定		1
室外機の高圧洗浄		1
小計	21	
その他	再生可能エネルギーの設置・拡大	6
	カーボンオフセットの活用	2
	植林と交流会	1
	森林整備	1
	電気自動車への切り替え	1
	配送コースの見直し・合理化	2
	エコドライブ	1
	リサイクルアイテムの拡大	3
	リサイクルポイントシステム導入	2
	廃棄物の削減	2
	リサイクルの推進	1
店舗閉店	2	
小計	24	
合計	73	

2014年度の計画		件数	
ハード面	LED照明への切り替え	9	
	省エネ設備の導入・更新	7	
	エアコンの切り替え（ガス⇒電気）	2	
	LPG車からディーゼル車への切り替え	2	
	コンプレッサーへの設備改善剤投入	1	
	冷凍冷蔵庫と空調の更新	1	
	ファンモーターへのインバーター設置	1	
	小計	23	
	ソフト面	省エネチューニング	2
		デマンド設置	2
節電の取り組み		2	
統合マネジメントシステム導入		1	
EMSの継続運用		1	
省エネコンサルタントの導入		1	
電力量の見える化		1	
スマートメーター設置		1	
集中管理システムの導入		1	
ショーケース防露ヒーターのタイマー運転		1	
冷凍庫の年末停止		1	
冷設備の間欠運転		1	
空調の適正温度設定		1	
不必要な照明の消灯		1	
小計	17		
その他	太陽光発電の拡大	3	
	BDFの用途拡大（発電）	2	
	再生可能エネルギーの導入	2	
	新電力の調査研究	1	
	カーボンオフセットの活用	1	
	森の環境整備	1	
	エコドライブ	3	
	車両の電動自転車への切り替え	1	
	車両運用管理システム	1	
	リサイクルの推進	1	
	リサイクルポイントシステム導入	1	
食品リサイクル・堆肥化	1		
うちエコ診断	1		
施設の統廃合	2		
小計	21		
合計	61		

#### 5. 2020 年までの総量削減計画

生協名	2005年度	目標	2011年度	2013年度	2015年度	2017年度	2020年度	2020年度対 2005年度
全国計	836,974	725,605	793,254	785,663	760,400	754,079	701,921	83.9%
●北海道・東北	191,285	162,593	186,494	191,128	174,711	171,872	160,699	84.0%
●中央	266,636	226,640	243,354	245,388	242,076	238,620	215,291	80.7%
●関西	241,108	204,942	209,922	198,357	197,038	199,115	194,273	80.6%
●中四国	61,038	51,882	53,674	51,507	52,366	52,810	51,188	83.9%
●九州	49,550	42,117	46,895	44,875	41,554	41,903	43,040	86.9%

#### 6. 2013 年度実績（総量・原単位）および基準年比・前年比・計画比

CO <sub>2</sub> 排出量	2005年度	2013年度							2015年度	2020年度
	実績 (t)	実績 (t)	計画 (t)	基準年比 (%)	前年比 (%)	計画比 (%)	供給高 (億円)	原単位 (t/億円)	計画 (t)	計画 (t)
全国計	848,345	790,590	722,180	93.2%	98.6%	109.5%	—	—	644,789	645,391
●北海道・東北	180,496	178,029	191,128	98.6%	96.8%	93.1%	4,755	37.4	194,723	177,978
●中央	260,863	252,524	181,904	96.8%	99.1%	138.8%	5,751	43.9	189,444	168,573
●関西	246,343	208,350	198,358	84.6%	99.8%	105.0%	6,899	30.2	121,465	118,825
●中四国	62,942	49,919	51,507	79.3%	95.8%	96.9%	1,689	29.6	39,992	38,496
●九州	57,486	50,853	44,875	88.5%	97.2%	113.3%	1,523	33.4	41,554	43,040